

教科別授業改善推進プラン（家庭科）

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

（1）成果

- ・ICTを活用したことで、調理や裁縫の手順を確認しイメージをより具体的にもち、調理に取り組むことができた。
- ・裁縫の活動では、友達と教え合う場を設けたことによって、教える児童も教えられる児童も、理解を深めることができた。

（2）課題

- ・調理器具によっては、現代との結びつきが浅く学習で身に付けたことを、実生活で実践する機会が少ない。

2 重点課題

5年	・裁縫の基本的な技能（玉結び・玉どめ）を定着させること。 ・生活経験による技能や知識に個人差が大きい。
6年	・掃除や調理など実生活で実践し、その意欲を継続すること。 ・裁縫は基礎・基本の技能を習熟すること。

3 授業改善策

5年	・裁縫では、写真や絵だけでなく、動画で玉結びや玉どめの手順を確認し、できるまで繰り返し指導する。十分な実習時間を確保する。 ・調理では、授業の展開を工夫して時間を十分に確保し、経験の不足を補うために基本的な技能について一つ一つ丁寧に教える。 ・火をつけたり野菜を切ったりするような学習の重点は、全員に経験させる。
6年	・裁縫では、作品作りの前に基礎的な技能を習熟する時間を確保する。また、教え合いや助け合いを奨励する。 ・授業で学んだことを日々の生活で実践できるように、どのような場面で生かせるかについて学級全体で理解を深める。